



参考資料

オンプレミスでは仮想アプライアンス、クラウドではホスティング サービスとして機能するパーソナル クラウド ブローカー、 VMware Horizon Application Manager™ 1.5 を発表

概要：

VMware Horizon Application Manager™ 1.5 により、IT 部門は Software –as-a-Service (SaaS) や企業で使用する Web および VMware ThinApp® アプリケーションの管理を強化しながら、エンド ユーザに任意のデバイスから自由にアクセスできる環境を提供できるようになります。

VMware Horizon Application Manager を通じ、統合アプリケーション カタログを介して仮想化された Windows アプリケーション、企業で使用する Web アプリケーション、および SaaS アプリケーションへのアクセスが可能になり、よりシンプルな IT 環境が実現します。ユーザ中心型で管理をするプラットフォームとして、エンド ユーザが選択したデバイスにアプリケーションをセキュアに配信するように設計されているだけでなく、IT 部門はこのプラットフォームを使用して、企業のポリシーと管理をパブリック クラウドおよびプライベート クラウド上のアプリケーションやサービスにまで拡大できます。

さらに、VMware Horizon Application Manager はエンド ユーザの ID、場所、デバイスなどに応じたアプリケーション サービスへのアクセスを提供することができます。IT 部門は、エンド ユーザのアクセスと使用状況をより詳しく把握し、ユーザ自身が選択したデバイス上でいつでもアプリケーションにシームレスに接続することを可能にしながら、ユーザをよりよい形で管理し、IT コストを抑えることができます。

VMware Horizon Application Manager™ の機能とメリット

IT 部門は Horizon Application Manager 1.5 の新たな機能を使用して、ポリシー ベースのアプリケーション サービスをコントロールおよび管理し、あらゆるデバイスを使用するエンド ユーザにそれらを提供することができます。Horizon Application Manager 1.5 では、次のような機能が拡張されています。

- **VMware Horizon Application Manager アプライアンス：**
オンプレミス型やプライベート クラウド向けの VMware vSphere® ベースの仮想アプライアンスとして提供される予定の VMware Horizon Application Manager 1.5 は、導入期間の短縮とコストの削減により効率化を実現します。さらに、VMware はダウンタイムなしのパッチ対応、新たにインストールを必要としない将来のアップグレードを実現することを支援します。
- **VMware Horizon Enterprise Connector：**
新しい VMware Horizon Enterprise Connector は、既存のディレクトリーサービスのアーキテクチャを変更や停止することなく、ユーザ認証とシングルサインオンを既存のディレクトリーサービスおよびプロファイルやポリシーをサポートします。
- **VMware Horizon Operator：**
全てのサイズや複雑性を持つ組織をサポートするためにデザインされており、VMware Horizon Operator は複数の組織やテナントをまたがった運用管理画面を提供します。Operators は組織内の管理者をロールベースで作成し、組織をまたがって作成、管理、レポートをすることができます。
- **VMware Horizon Administrator：**
VMware Horizon Administrator のコンソールは、1つの組織内の起動とライセンスの使用状況を管理および監視しながら、Web ベースの 1つの統合されたプラットフォームを提供して、エンド ユーザとアプリケーションの管理、ポリシーおよびレポートの作成を効率化し、IT の運用コストを削減します。VMware Horizon Administrator は、アプリケーション のアクセスとエンド ユーザのアクセス権の迅速な設定や変更に加え、サービスの要求と承認プロセスを効率化するワークフローの構築および自動化の機能を提供します。

- VMware Horizon Policy Manager :**
 粒度の細かいポリシー管理のもとで、VMware Horizon Policy Manager により管理者は簡単にポリシーの定義を行うことができます。また、BYOD（私物デバイスの活用）を促進するセキュアなアクセス管理が実現し、エンド ユーザは場所、接続環境、デバイスなど状況に応じて自由にアクセスできるようになります。VMware Horizon Policy Manager により、IT 部門は個人または企業のデバイス カテゴリ別に異なるアクセスおよびアクセス権限のポリシーを作成し、信頼性の高いドメインのコンピュータ上でのみ SaaS アプリケーションを実行することができます。
- VMware Horizon Application Catalog :**
 VMware Horizon Workspace の統合アプリケーション カタログは、パブリック クラウドおよびプライベート クラウド上にある使用可能なすべての Windows、SaaS、および Web アプリケーションを表示する 1 つのビューを提供します。このカタログは業界をリードする SaaS アプリケーションを含みます。さらに、IT 部門は企業向けの Web や VMware ThinApp のアプリケーションをカスタマイズしてカタログ化した新しいアプリケーションを追加できます。VMware ThinApp に仮想化された Windows のアプリケーションのサポートの拡張は、エンドユーザーへのパッチのアップデートや貸し出しの際の管理性を IT 部門に対して高められるようになります。
- VMware Horizon の Extension Service :**
 VMware Horizon データを既存のシステムへ統合するための API を提供することで、Horizon のプロセスを活用既存の投資の価値を拡張します。VMware Horizon Extension Service は VMware Horizon Application Manager を既存のワークフローやレポートシステムに統合をし、組織の新しい実態を見つけることができます。
- VMware Horizon Workspace :**
 VMware Horizon Workspace は、ネイティブ アプリケーションあるいはウェブ インターフェイス経由で、すべてのプラットフォームで利用できる 1 つの作業空間を提供することにより、すべてのデバイスからのアプリケーションへのアクセスをシングル サインオンで実現できるため一貫したエンド ユーザ エクスペリエンスを提供します。さまざまなデバイスを想定した作業空間では、パブリック クラウドおよびプライベート クラウド アプリケーション間の ID 管理連携も実現します。
- VMware Horizon Client for Windows :** VMware ThinApp や VMware Horizon Application Manager を通じて展開されたデスクトップの Windows ベースのアプリケーションの展開と同期を実現します。
- 認証サポートの拡張 :**
 SAML と OAuth2 のサポートおよびオープン スタンドardsに準拠し、企業向け SaaS アプリケーションの大部分を確実にサポートします。

■ VMware Horizon に関する詳細はこちらへ

http://www.vmware.com/jp/products/desktop_virtualization/horizon/ (英語サイト)

■ 購入方法について

VMware Horizon Application Manager は本四半期に販売を開始する予定です。

国内販売パートナーにお問い合わせ下さい。

パートナーに関する情報は <http://www.vmware.com/jp/partners/> をご覧ください。

■ 価格について

ライセンスは指名ユーザあたり 7,500 円（市場予想価格）より提供されます。本価格にはサポートおよびサブスクリプションは含まれません。

VMware, Inc. エンド ユーザ コンピューティング製品担当副社長 ヴィットリオ・ヴィアレngo (Vittorio Viarengo) コメント :

「業務の現場では、従業員のモビリティやデバイスとアプリケーションの多様化が加速しています。このような状況の中、VMware はお客様の新しいレベルの要求に応える支援をすることをお約束します。

VMware Horizon Application Manager 1.5 は、エンド ユーザの生産性を高めるとともに IT 部門の管理性とコントロール性を強化します。VMware Horizon™での、SaaS、企業の Web アプリケーションおよび ThinApp アプリケーションは統合アプリケーション サービスに形を変え、エンド ユーザはあらゆるデバイスでアプリケーションにシンプルかつセキュアにアクセスできるようになります」

VMware、VMware Horizon、VMware Horizon Application Manager、VMware ThinApp および VMware vSphere は、VMware, Inc.の米国および各国での商標または登録商標です。他のすべての名称ならびに商標は、それぞれの企業の商標または登録商標です。

将来予想に関する記述

本プレス リリースには、過去または現在の事実に関するもの以外に、将来予想に関する記述 (forward-looking statement) が含まれており、1995 年米国私募証券訴訟改革法 (Private Securities Litigation Reform Act of 1995) の「セーフハーバ」条項 (the safe harbor provisions) に準拠しています。これらの将来予想に関する記述は、VMware Horizon Application Manager にて提供される機能、それらの製品の入手性、将来の IT の進化への期待、VMware 製品の役割およびそれら製品がユーザにもたらすメリットなどの VMware の未来の技術に関する計画を含みますが、これらに限定されるものではありません。実際の結果は、特定のリスク要因により、将来予想に関する記述で予想された結果と大きく異なる場合があります。リスク要因には、(i) iTHC 機能を当社のベンチマークサービスに統合する能力、(ii) 世界的な経済状況や市場状況の悪化、(iii) IT 消費の落ち込みまたは遅延、(iv) 価格競争、業界再編、新規競合会社の仮想化市場への参入、競合会社による新製品の投入およびマーケティング施策などの競合状況が含まれますが、これらに限定されるものではありません、(v) お客様の新製品の開発、および新しい製品、クラウドコンピューティングなど新たなコンピューティング戦略へ移行する能力、(vi) お客様の新興技術に対する許容性 (賛同の有無)、(vii) 仮想化ソフトウェアおよびクラウド プラットフォームおよびデスクトップ コンピューティング プラットフォームの飛躍的な技術革新および市場変化、(viii) 製品開発スケジュールの変更、(ix) 当社の独自技術のマネジメント能力、(x) 当社が優秀な従業員を採用、維持できるかどうかなどの不確定要素が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

これらの将来予想に関する記述は、現時点での予想に基づくものであり、状況、重要性、価値、および効果の不確実要素と変化、ならびに最新の報告書 Form 10-Q、Form 10-K、Form 8-K を含む米証券取引委員会に提出した文書に詳しく記載されているその他のリスクによる影響を受けることがあり、実際の結果が予想と異なる可能性があります。当社は、このリリース後にこれらの将来予想に関する記述を更新する義務を一切負いません。